Form No. 3373-835 Rev A

36 インチ Recycler® キット
ミッドサイズモア用 TURBO FORCE® カッティングユニット
モデル番号110-2080

取り付け要領

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

安全について

サイドディスチャージまたはマルチング

⚠ 警告

デフレクタや、排出カバー、または集草アセンブリを確実に取り付けずに使用すると、人がブレードに触れたり、ブレードに跳ね飛ばされたものが人に当たったりするなどして極めて危険である。回転中のブレードに触れたり、跳ね飛ばされた物に当たると、けがをするばかりでなく場合によっては死亡する。

- **デフレクタは排出方向を下向きにする重要な部材であるから、絶対に取り外したままで刈り込みを行ってはならない。デフレクタが破損している場合には直ちに交換すること。**
- **カッティングデッキの下には絶対に手足を差し入れないこと。**
- **刈り込みデッキの排出部や刈り込みブレードの近くを清掃する時には必ずPTOを解除（OFF）し、エンジンのキーを抜き取る。また、キーを抜き取ったら、点火プラグの高圧コードも外しておく。**

サイドディスチャージ（側方排出）モードで使用するカッティングデッキには、必ず、刈りかすを地面に向けて飛ばすデフレクタ（蝶番付き）を取り付けてください。

マルチ（微粉砕）モードで使用するときには、以下の要領により刈り込みデッキ内部にバッフルを取り付けてください：

© 2012—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は：www.Toro.com.

この文書は翻訳です。(JA)
Printed in the USA.
禁無断転載
3373-835 A

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	–	デッキの準備を行います。
2	必要なパーツはありません。	–	既存のブレードを取り外します。
3	必要なパーツはありません。	–	デッキについているバッフルを取り外す。
4	排出プレート ボルト(3/8 x 1インチ) フランジナット(3/8 インチ)	1 2 2	排出プレートを取り付けます。
5	左バッフル 右バッフル ボルト(3/8 x 7/8 インチ) フランジナット(3/8 インチ)	1 1 6 6	バッフルを取り付けます.
6	リサイクラ・ブレード	2	新しいブレードを取り付けます。

1

デッキの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 芝刈りデッキを十分に洗浄する。デッキにバッフルを正しく取り付けられるように、汚れをすべて落とすこと。
2. デッキの破損や曲がりをすべて修理し、なくなっている部品をすべて取り付ける。

2

既存のブレードを取り外す

必要なパーツはありません。

手順

スピンドルについている既存のブレードを外す（図 1 または 図 2）。

注 外したブレードは再び側方排出モードで使用するときのために保管してください。リサイクラ用のブレードを取り付けるときに、ステップ4で外したボルトとワッシャを使用します。

⚠ 警告

ブレードは非常に鋭利である。刃先に触れると大けがをする。

ブレードを取り扱うときは丈夫な手袋をするか、刃先部分厚い布などでしっかりと覆うこと。

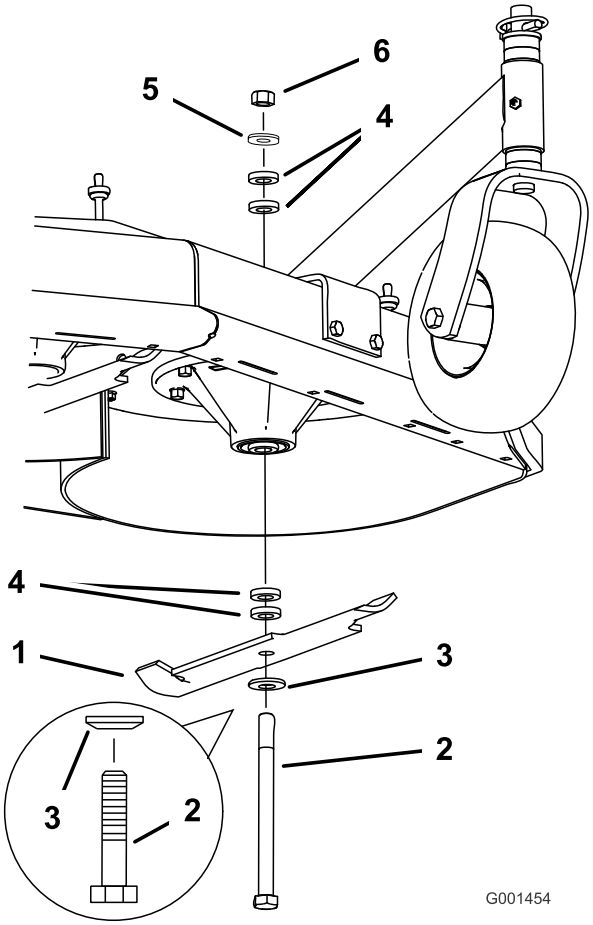


図 1

図は固定型のデッキを示す

1. ブレード
2. ブレードボルト
3. 湾曲ワッシャ
4. スペーサ（固定型デッキのみ）
5. 薄いワッシャ
6. ナット

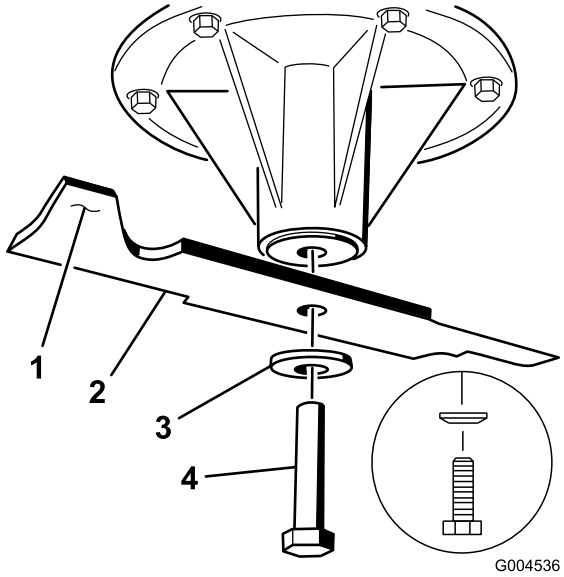


図 2

図は GrandStand® 芝刈り機

1. ブレードのセール部
2. ブレード
3. 湾曲ワッシャ
4. ブレードボルト

.

3

デッキについているバッフルを取り外す

必要なパーツはありません。

手順

注 以下の作業では、ボルトはデッキに「ねじ込まれて」います。ボルトを外す場合には、まずナットを外してください。

1. 刈り込みデッキから刈り込みベルトカバーを取り外す（図 3）。
2. 左前バッフルを固定しているフランジナットとワッシャとボルトを外す（図 3）。
3. 固定型の刈り込みデッキの場合には、左前バッフルを取り外した後に、ボルト、ワッシャ、ナットを、キャスタホイール取り付けブラケットに取り付ける。
4. 排出バッフルを固定しているフランジナットとボルトを外す（図 3 または 図 4）。バッフルを取り外した後、取り付け穴に再びボルトとナットを取り付けて穴を塞ぐ。
5. 可変フローバッフルを固定している大きいフランジナット、またはカムロックとワッシャを外す（ねじ式になっているので注意（図 3）。

6. 可変フローバッフルを固定しているボルトを外す（図 3）。

   注 今後、側方排出方式に戻す場合のために、外した部品類はすべて保管する。

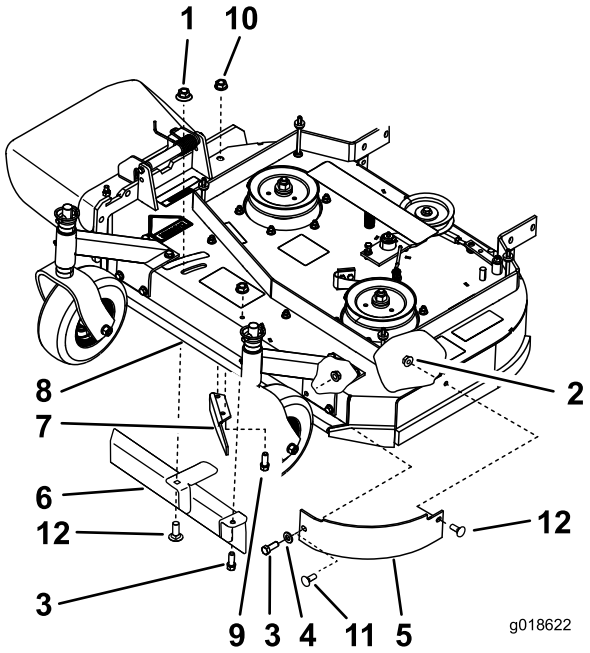


図 3

図は固定型のデッキを示す

1. 大きいフランジナット
2. ロックナット
3. ボルト
4. ワッシャ（小）
5. 左前バッフル
6. 可変フローバッフル
7. 排出用バッフル
8. ターボフォース刈り込みデッキ
9. ボルト、排出バッフル取り外し後、取り付け穴にボルトをもう一度取り付けて穴を塞ぐ。
10. ロックナット、排出バッフル取り外し後、取り付け穴にもう一度取り付けて穴を塞ぐ。
11. グランドスタンド芝刈り機およびフローティング型刈り込みデッキにおけるキャリッジボルトの位置
12. キャリッジボルト

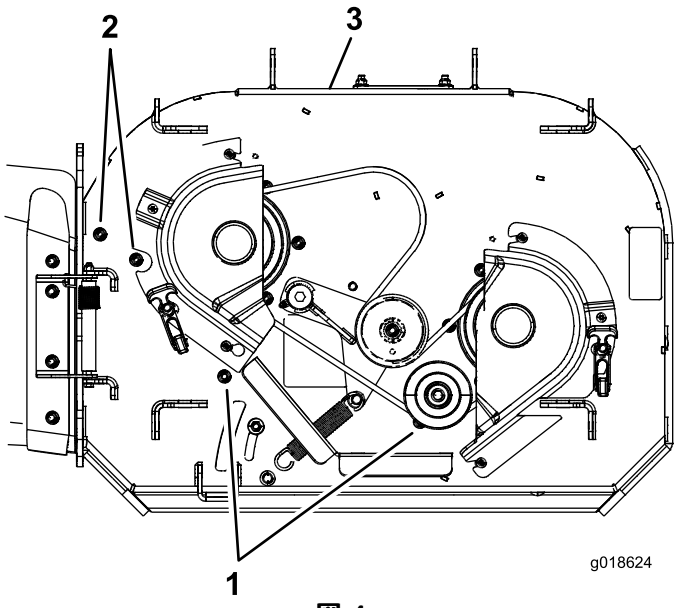


図 4

図はグランドスタント芝刈り機

1. 側方排出モードに戻す場合に備えて外した部品は保存する。
2. 排出バッフル：取り付け穴にボルトとナットをもう一度取り付けて穴を塞ぐ。
3. グランドスタンド芝刈り機のデッキ

4

排出プレートを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	排出プレート
2	ボルト（3/8 x 1インチ）
2	フランジナット（3/8 インチ）

手順

取り付けブラケットの外側に、排出プレートを取り付ける；ボルト（3/8 x 1 インチ）（2本）ナット（3/8 インチ）（2個）を使用する（図 5）。

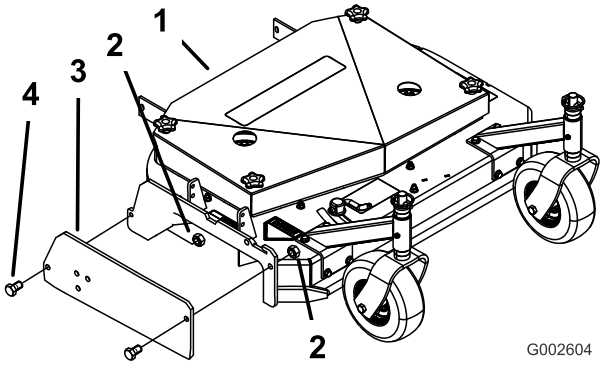


図 5
図は固定型のデッキを示す

1. 刈り込みデッキ
2. ナット(3/8 インチ)
3. 排出プレート
4. ボルト（3/8 x 1 インチ）

5

バッフルを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	左バッフル
1	右バッフル
6	ボルト(3/8 x 7/8 インチ)
6	フランジナット(3/8 インチ)

手順

注 新しいバッフルを取り付けるのに必要な穴はすべてデッキにあけてあります。

注 デッキについている穴を使って、それぞれのバッフルをデッキに仮止めし、整列させる。

1. 右バッフルを取り付ける。
2. 刈り込みデッキに右バッフルを仮止めする；ボルト（3/8 x 7/8 インチ）1本とフランジナット（3/8 インチ）1個を使用する（図 6）。
3. 排出プレートに右バッフルを仮止めする；ボルト（3/8 x 7/8 インチ）1本とフランジナット（3/8 インチ）1個を使用する（図 6）。
4. 左バッフルを取り付ける
5. 刈り込みデッキに左バッフルを仮止めする；ボルト（3/8 x 7/8 インチ）2本とフランジナット（3/8 インチ）2個を使用する（図 6）。
6. 刈り込みデッキの左側壁に左バッフルを仮止めする；ボルト（3/8 x 7/8 インチ）1本とフランジナット（3/8 インチ）1個を使用する（図 6）。
7. 右バッフルに左バッフルを仮止めする；ボルト（3/8 x 7/8 インチ）1本とフランジナット（3/8 インチ）1個を使用する（図 6）。

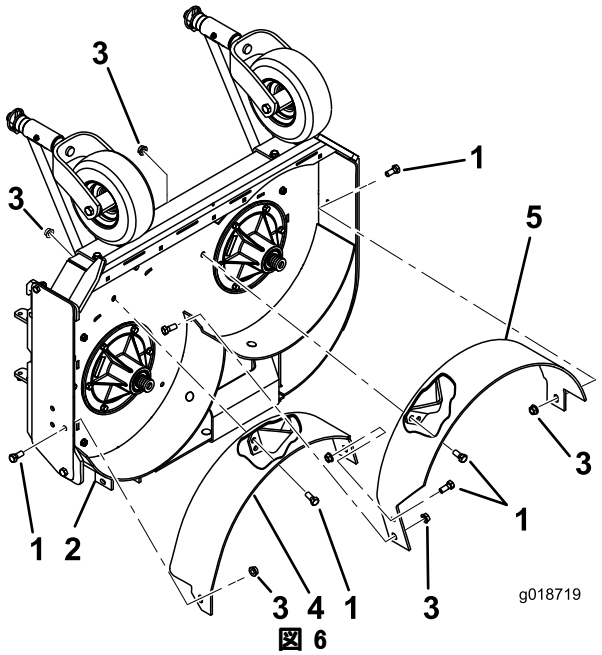


図 6

図は固定型のデッキを示す

1. ボルト(3/8 x 7/8)
2. 刈り込みデッキ
3. フランジナット(3/8 インチ)
4. 右バッフル
5. 左バッフル

6

新しいブレードを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	リサイクラ･ブレード

手順

重要 ブレードの「セール」部分（縦になっている部分）がデッキの天井側を向くように取り付ける（図 7）。

1. 固定式のデッキでは、スペーサ（1/4 インチ）4個をブレードスピンドルボルトに入れてブレードの高さ調整を行う；オペレーターズマニュアルを参照。
2. スピンドルに新しいブレードを取り付ける；ワッシャ、ブレードボルトは先ほど取り外したものを使用する（図 7 または 図 8）。
3. 固定式のデッキでは、ブレードボルトを 75-80 ft-lb (101-108 N-m=9.7-11.0 kg/cm2)にトルク締めする（図 7）。
4. グランドスタンド芝刈り機およびフローティング型刈り込みデッキでは、ブレードボルトを 85-110 ft-lb (115-150 N-m=11.8-15.2 kg/cm2)にトルク締めする（図 8）。
5. ブレードを手で回して、バッフルとブレードとの間に隙間があることを確認する。
6. 全部のバッフルのボルトとナットを締めつける（図 6）。

⚠ 警告

ブレードは非常に鋭利である。刃先に触れると大けがをする。

ブレードを取り扱うときは丈夫な手袋をするか、刃先部分厚い布などでしっかりと覆うこと。

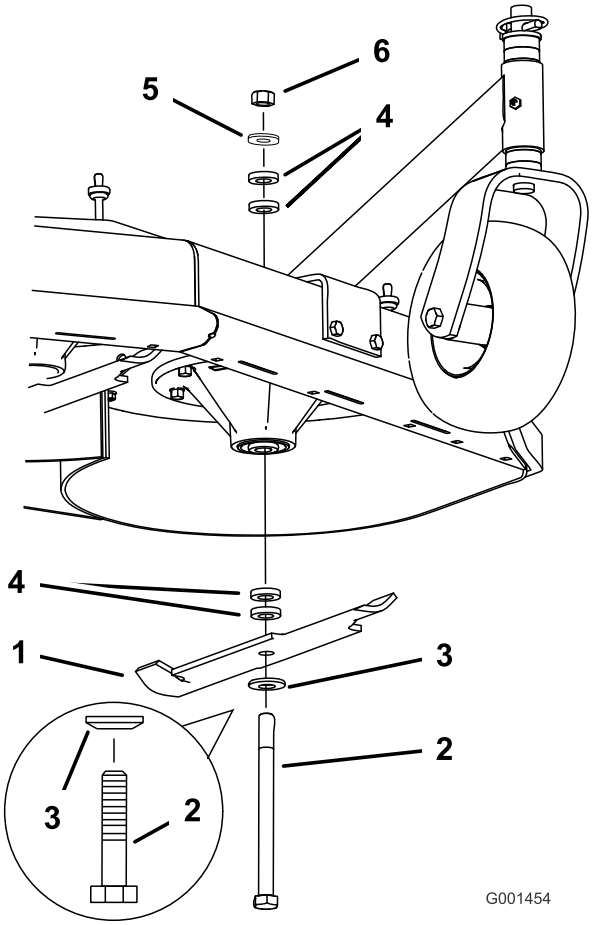


図 7

図は固定型のデッキを示す

1. ブレード
2. ブレードボルト
3. 湾曲ワッシャ
4. スペーサ（固定型デッキのみ）
5. 薄いワッシャ
6. ナット

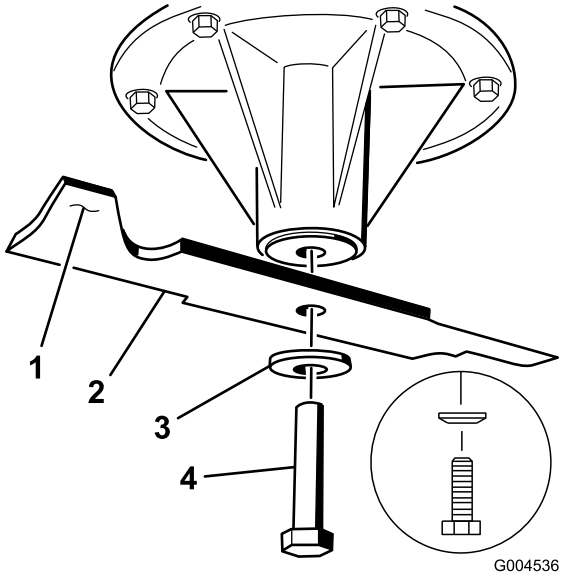


図 8

図は GrandStand® 芝刈り機

1. ブレードのセール部
2. ブレード
3. 湾曲ワッシャ
4. ブレードボルト

運転操作

適切な刈高を選択する

一度に切り取る長さは25 mm以内に抑えましょう。草丈の1/3 以上は刈り取らないのが原則です。成長期の非常に密生している芝生では、刈り高設定を上げるか、側方排出モードに変更するか、または集草する必要があるかもしれません。

悪条件下での刈り込み

刈かすを細かく裁断するには十分な空気流が必要ですから、刈高を低くしすぎたり、刈り込みデッキの周囲すべてを高い草で囲まれるような刈り込みはお奨めできません。常に刈り込みデッキの左右どちらかの側から、デッキの内部に十分な空気を吸い込めるようにしておきましょう。一番最初に敷地の真ん中に刈り込みを行う時にはデッキの左右が共に草に囲まれていますから、刈り込み速度を遅くし、デッキが詰まる場合にはバックするなどしてください。

適切な日数間隔で刈り込む

通常の環境では、4～5日に1回の刈り込みが必要になります。しかし、草の生長速度は色々な条件によって左右され、一定ではありません。したがって、同じ草丈を維持できるような日数間隔で刈り込みを行うのが良い指標となります；春などのように芝草が非常に旺盛に成長する時期には刈り込み回数を増やし、成長速度が遅い時期には8～10日に1回の刈り込みでも大丈夫です。悪天候などの理由により刈り込みできない日が何日も続いてしまった場合には、側方排出モードに変更するか、集草するか、あるいは最初に高めの刈高で刈り、その後2～3日してから刈高を下げるようにするとよいでしょう。

鋭利なブレードで刈り込む

鋭い刃先で刈り込めば、葉身を引きちぎることなくクリーンな切り口で刈ることができます。鈍い刃先で刈り込むと切り口が汚くなります。そのような切り口は茶色に変色し、芝草の成長に悪影響を与えるだけでなく、病害の発生なども助長します。

作業後の洗浄と点検

きれいな刈りあがりを維持するために、芝刈り作業が終わったらホースと水道水でカッティングユニットの裏側を洗浄してください。刈りカスがこびりつくと、刈り込みの性能が十分に発揮されなくなります。